



2023年11月27日
第67号

JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

現業機関における柔軟な働き方の更なる推進について提案を受ける①

横浜地本は11月27日に、標題の提案を受けました。2022年から順次「連携・融合・兼務」の具体形として、統括センターと営業統括センターを発足させ、組合員も担ってきましたが、今回の提案によれば、全ての運輸区を統括センターに内包する形をめざす提案となっています。今後、職場の声を基に、労使議論を行っていきます。

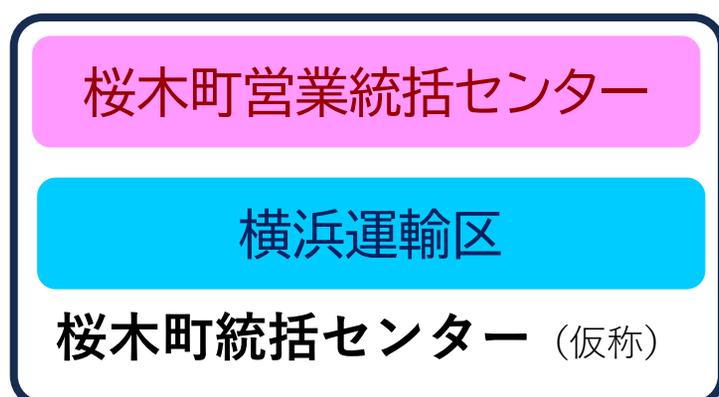
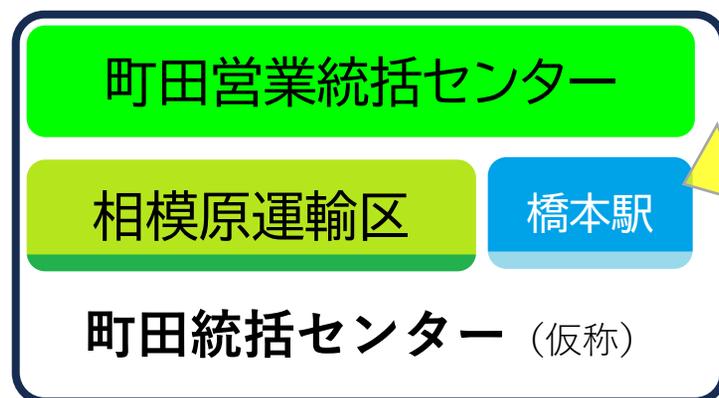
統括センター化 2024年3月1日実施

- 横浜営業統括センターと大船運輸区を統合し「横浜統括センター」とする
- 川崎統括センターに川崎運輸区を統合する



統括センター化および区分け変更 2024年10月1日実施

- 桜木町営業統括センターと横浜運輸区を統合し、「桜木町統括センター(仮称)」とする
- 町田営業統括センターと相模原運輸区を統合し、「町田統括センター(仮称)」とする
- 湘南・相模統括センターと国府津運輸区を統合する
- 橋本駅を湘南・相模統括センターから「町田統括センター(仮称)」に変更する
- 国府津駅を、小田原・伊豆統括センターから湘南・相模統括センターに変更する



※各統括センターの体制については別途提案があります
※提案時の議論については、②に続きます